



NEWS RELEASE

財団法人 宿泊施設活性化機構
財団広報部
105-001 東京都港区虎ノ門1-21-10
Tel:03-3222-0111
<http://www.jalf.or.jp>

2023年2月20日

第7回日本宿泊ダボス会議 開催決定

「収益のために地域と一体にならざるを得ない宿泊施設」
～インバウンドの回復と分散型ホテルの発展を念頭に～

財団法人宿泊施設活性化機構(所在地:東京都港区虎ノ門一丁目、事務局長:伊藤泰斗)は、2023年3月15日(水)午後1時より、業界を代表する宿泊施設・観光関連事業者・関連団体・中央省庁・政治家や実業家等が一堂に会し、業界のナレッジ共有や討議を行う業界最大の会議『日本宿泊ダボス会議』の第7回目を「収益のために地域と一体にならざるを得ない宿泊施設 ～インバウンドの回復と分散型ホテルの発展を念頭に～」をテーマとして、東京都千代田区衆議院第一議員会館 国際会議場にて開催及び配信します。

財団法人宿泊施設活性化機構では、以下の通り、衆議院第一議員会館 国際会議場にて第7回日本宿泊ダボス会議を2023年3月15日(水)に開催することになりました。

日本宿泊ダボス会議は、業界を代表する宿泊施設、観光関連事業者、関連団体、中央省庁、政治家や実業家等が一堂に会し、業界のナレッジ共有や討議を行う業界最大の会議となっており、過去6回の開催実績があります。

今回は「収益のために地域と一体にならざるを得ない宿泊施設」と題し、～インバウンドの回復と分散型ホテルの発展を念頭に2030年を考える～ に特化して宿泊施設が地域創生に果たす役割の重要性を考える会といたします。

日本国の最重要政策である観光立国を支える宿泊施設は、このコロナ禍において大変なダメージを受けました。その結果、顧客マインドのみならずビジネスモデルまで変革を強いられています。コロナ禍を経て、SDGsの観点から、および投資回収の観点から、以前と比べ格段に厳しさを増している先行きが不透明な時代において、こんな問題解決の方策もある、という方向性をご提示することができれば幸いです。

JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議

地域 x 宿泊

第7回 日本宿泊ダボス会議

収益のために地域と一体にならざるを得ない宿泊施設
～インバウンドの回復と分散型ホテルの発展を念頭に～

日時 2023年3月15日[水] 13:00～19:30

JAPAN x Inbound

日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議 JALFO 日本宿泊ダボス会議

<プログラム> 司会 中村香織（元NHKアナウンサー）

【基調講演1】13:00～14:00 「私が考える2030年を見据えた宿泊業界の進化」

アフターコロナで大きな変化を見せた旅館業のビジネスモデルにおいて、現状重要視すべきポイントを伺います。そして今後のさらなる進化をどう考えるか、業界の賢人に多角的な視野と視点をいただきます。

- ・ 登壇者：大西 雅之 鶴雅グループ 代表 / 日本旅館協会 会長
- ・ モデレーター：伊藤 泰斗 財団法人宿泊施設活性化機構 事務局長

【基調講演2】14:05～15:05 「私が考える2030年を見据えた宿泊業界の進化」

アフターコロナで大きな変化を見せたホテル業のビジネスモデルにおいて、現状重要視すべきポイントを伺います。そして今後のさらなる進化をどう考えるか、業界の賢人に多角的な視野と視点をいただきます。

- ・ 登壇者：阿部 博秀 前日本ハイアット 代表 / H.A.アドバイザーズ株式会社 代表取締役

【休憩】15:05～15:30 コーヒーブレイク

【シンポジウム】15:30～16:20 「宿泊業が使うべきインバウンド対応策」

再び復活してきたインバウンド。国ごとに違う季節波動を把握して閑散期を埋める一助とする以外にも、宿泊業として対応すべきポイントを伺います。また、今後の動向や、都市部だけではない地方への展開見通し等についても多角的な視野と視点をいただきます。

- ・ 登壇者：中村 好明 一般社団法人 日本インバウンド連合会(JiF) 理事長
- ・ 登壇者：村山 慶輔 株式会社やまごころ 代表取締役 / JALF理事
- ・ モデレーター：小松崎 友子 観光庁「広域周遊観光促進事業」専門家 / 株式会社イントゥ代表取締役

【JALF TREND】16:20～16:30 JALFトレンド JMBA (JALF-MBA) のご紹介

【実態講演】16:30～17:00 「アルベルゴディフーズの実態」

アルベルゴ・ディフーズの考え方や、日本における分散型ホテル/町まるごとホテルのあり方について、イタリア語でご講演いただきます。（同時通訳付き）

- ・ 登壇者：ジャンカルロ・ダッラーラ アルベルゴ・ディフーズインターナショナル 会長

**【成功事例】17:10～18:00 「地域再生の決定打：アルベルゴディフーズタウン」
パネルディスカッション**

～こうすればバラバラな地域が一丸となってまとまる！～

地方創生が言われて久しいものの、なかなか地域がまとまらず苦悩されている方も多くお聞きします。その中で積極的な情報発信を実施し、地域が一丸となって観光による地域再生に成功されている矢掛町に、その秘訣を伺います。

- ・ 登壇者：金子 晴彦 一般財団法人矢掛町観光交流推進機構（やかげDMO）理事長
- ・ 登壇者：安達 精治 矢掛屋（株式会社シャンテ）代表取締役CEO
- ・ 登壇者：長谷川 昭憲 一社)アルベルゴディフーズインターナショナル 極東代表

【情報交換会/プレスレセプション】18:00～19:30

<日時>

2023年3月15日（水）13：00～19：30

<会場>

東京都千代田区永田町2丁目2-1 衆議院第一議員会館
（地下鉄「国会議事堂前駅」「永田町駅」「溜池山王駅」）

<参加資格>

- ・ホテル/旅館の経営者および運営者
- ・財団法人宿泊施設活性化機構 会員
- ・公務員（地方公務員 / 国家公務員の特別職/一般職、いずれも対象）
- ・DMO関係者

<公式サイト>

<http://jalf.or.jp/event/davos2023/>

<お申込み>

公式サイトよりお申込みください。締め切りは2023年3月13日23時59分です。

<お問い合わせ>

日本宿泊ダボス会議 事務局（財団法人宿泊施設活性化機構内）

Email： davos@jalf.or.jp

主催：財団法人宿泊施設活性化機構

後援：観光庁、厚生労働省

【後援】



【リリースに関する問い合わせ先】
財団法人 宿泊施設活性化機構
財団広報部 佐藤
TEL:03-3222-0111

プログラム

司会 中村香織（元NHKアナウンサー）

【カンファレンス】 13:00～18:00

【基調講演1】 13:00～14:00

「私が考える2030年を見据えた宿泊業界の進化」

アフターコロナで大きな変化を見せた旅館業のビジネスモデルにおいて、現状重要視すべきポイントを伺います。そして今後のさらなる進化をどう考えるか、業界の賢人に多角的な視野と視点をいただきます。

登壇者：大西 雅之 鶴雅グループ 代表

東京大学経済学部卒業後、三井信託銀行入社。1981年、父親が創業した阿寒グランドホテルに入社。1987年にJTBの顧客評価で最低ランクとなった同ホテルの反撃の先頭に立ち、2002年には大型宿泊施設では異例の「JTBサービス最優秀旅館ホテル日本一」となる。倒産したホテルの再生など、全国でも注目を浴びる観光経営者。



モデレーター：伊藤 泰斗 JALF事務局長

一橋大学商学部卒。三井住友銀行、日本総合研究所を経て、デロイトグループのコンサルティング会社に入社。主にホテルの経営戦略策定・業務改善・評価業務に従事。その後、ホテルの運営会社を創業。主としてホテル、旅館等のターンアラウンドを主眼においた運営受託業務を手掛ける。会社売却後、デロイトトーマツFAS株式会社において、ホテル業界に対してアセットマネジメント業務を提供。2015年9月に財団法人宿泊施設活性化機構を創設。



【基調講演2】 14:05～15:05

「私が考える2030年を見据えた宿泊業界の進化」

アフターコロナで大きな変化を見せたホテル業のビジネスモデルにおいて、現状重要視すべきポイントを伺います。そして今後のさらなる進化をどう考えるか、業界の賢人に多角的な視野と視点をいただきます。

登壇者：阿部 秀博 前日本ハイアット 代表

東京大学経済学部卒、コーネル大学ホテル経営大学院修士。東京ガス勤務後、日本ハイアット代表取締役、ハイアットアジアパシフィック副社長（香港）、ハイアットインターナショナル部長（シカゴ）、を歴任。日本におけるホテルマネジメントの第一人者。



15:05～15:30 【休憩】

— コーヒーブレイク —

【シンポジウム】 15:30～16:20

「宿泊業が使うべきインバウンド対応策」

再び復活してきたインバウンド。国ごとに違う季節波動を把握して閑散期を埋める一助とする以外にも、宿泊業として対応すべきポイントを伺います。また、今後の動向や、都市部だけではなく地方への展開見通し等についても多角的な視野と視点をいただきます。

登壇者：中村 好明

一般社団法人日本インバウンド連合会(JiF) 理事長

1963年、佐賀県生まれ。上智大学出身。2000年、(株)ドン・キホーテ（現株式会社PPIHグループ）入社。経営戦略部に所属。総合企画室室長、本部長、社長室GMを歴任、2013年、グループ会社である株式会社JIS代表（2020年3月に退任）。2017年4月日本インバウンド連合会（JiF）理事長、2020年4月、(株)ぐぼう代表取締役就任。ハリウッド大学院大学客員教授。全国免税店協会副会長。



登壇者：村山 慶輔

株式会社やまごころ 代表取締役/JALF理事

兵庫県神戸市出身。米国ウィスコンシン大学マディソン校卒。アクセンチュア（戦略グループ）に入社。地域活性化プロジェクト、グローバルマーケティング戦略等の様々プロジェクトに従事。2007年にインバウンド観光に特化したBtoBサイト「やまごころ.jp」を立ち上げ、観光事業者・自治体向けに情報発信、コンサルティングサービスなどを提供。インバウンドビジネスの専門家として、ワールドビジネスサテライト、NHKワールドをはじめ、国内外各種メディアへ出演多数。



モデレーター：小松崎 友子

観光庁「広域周遊観光促進事業」専門家/株式会社イントゥ 代表取締役

「旅」のマーケティングの専門家。アッパーミドル層の訪日リピーターを主軸においた戦略を得意とし、インバウンド獲得による日本の地方活性および民間企業の収益拡大に従事。「ジャパン・ツーリズム・アワード」にてメディア部門賞受賞。日本記者クラブ登壇。朝日新聞やダイヤモンド・オンライン等にて記事執筆。



16:20～16:30 【休憩】

～JALFトレンド～ ～JALF-MBAのご紹介～

【実態講演】 16:30～17:00

「アルベルゴディフーズの実態」

アルベルゴ・ディフーズの考え方と、日本における分散型ホテル/町まるごとホテルのあり方について、イタリア語でご講演いただきます。（同時通訳付き）

登壇者：ジャンカルロ・ダッラーラ(Giancarlo Dall'ara)

アルベルゴ・ディフーズインターナショナル 会長

元イタリアペルージャ大学観光/地域開発学部教授。地震をきっかけに過疎化が進行し、空き家が増えてしまったイタリアのフリウリ地区の活性化のために、空き家を活用した独自のおもてなし宿泊モデル「アルベルゴ・ディフーズ」を考案。



【成功事例】 17:10～18:00

パネルディスカッション「地域再生の決定打：アルベルゴディフーズタウン」 ～こうすればバラバラな地域が一丸となってまとまる！～

地方創生が言われて久しいものの、なかなか地域がまとまらず苦悩されている方も多いとお聞きます。その中で積極的な情報発信を実施し、地域が一丸となって観光による地域再生に成功されている矢掛町に、その秘訣を伺います。

登壇者：金子 晴彦

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構 理事長（やかげDMO）

山形県出身。一橋大学卒。日本航空にて主に貨物部門を担当、オンボードクーリエ会社設立、DHLの買収等に関わる。勤務時代は香港支店に5年間赴任。山岳ガイドブックの執筆歴あり。写真もプロ級。趣味は歴史。



登壇者：安達 精治

株式会社シャンテ（矢掛屋）代表取締役CEO

島根県出身。慶應義塾大学商学部卒。日本不動産銀行（日本債券信用銀行、現あおぞら銀行）に入行し、外資系・大手・地方・リゾートホテル等大型案件の事業開発に従事。その後、ホスピタリティービジネス起業。主に地方の非都市部における小規模宿泊施設の運営を専門とする。



登壇者：長谷川 昭憲

一社)アルベルゴディフーズインターナショナル 極東代表

日本の大学卒業後、イタリアで32年間を過ごす。国立ナポリオリエンターレ大学および国立ローマ大学で講師を務め、国立ペルージャ外国人大学で教授として教鞭をとった。日本とイタリア間の交流活動を行う。「イタリアの最も美しい村」協会コーディネーター。



～ レセプション会場へ移動 ～

【情報交換会/プレスレセプション】 18:00～19:30

18:00～ 乾杯のご挨拶

18:05～ ご歓談 名刺交換交流会

19:30 中締め